

数学 (ⅡB) 九州大学 文、教育、法、経済 (経済・経営)、医 (保健一看護)、共創

<全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	4 題
------	-------	-------	-----

解答形式
全問記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

取り組みやすい問題が昨年よりも多くなった。

その他トピックス

文理共通問題が2題あった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	微分法・積分法	数学Ⅱ	2つの放物線と共通接線で囲まれた図形の面積を求める問題。 典型的で解きやすい。	易
[2]	平面ベクトル	数学B	座標平面上の2つの三角形の面積が等しくなることを考える問題。 典型的で解きやすい。	易
[3]	整数	数学A	階乗を含む等式を満たす自然数の組を求める問題。 (3)の論証をきちんとするのが難しい。	やや難
[4]	場合の数	数学A	3点以上の格子点を通る直線の個数を数える問題。 数が大きくないので、具体的に数えることが可能。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書の内容をきちんとマスターし、典型的な標準問題の解法をしっかり練習すること。
正確な計算力をつけること。